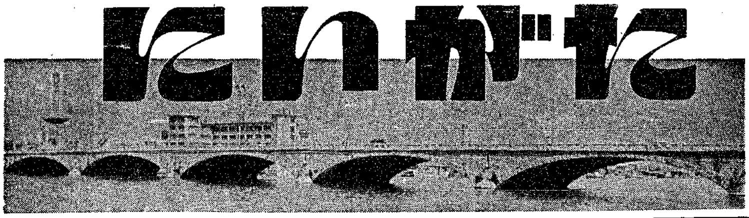
市報 にいがた



昭和39年12月5日発行
No. 117

毎月1回5日発行 定価1部3円（昭和30年9月20日 第三種郵便物認可）

発行所 新潟市役所 新潟市西堀通り6番町866の3 電話代表③6111
発行人 渡辺浩太郎
編集人 中島正二
印刷所 文明堂印刷所

交通ラッシュ緩和を検討
新潟市交通対策協議会開く

地震による復旧工事が進むにつれて、市内の交通マヒ状態は「東京以上だ」ともいわれています。とくに朝夕のラッシュ時には、新潟駅前―万代橋―柾谷小路は車の洪水で、まさに交通地獄さながらです。現在万代橋を通る車は、一日約五万台、地震前の約二倍の混みようです。

そこで、渡辺市長は、十一月二十一日新潟市交通対策協議会を開くに先だち、十八日早朝、ラッシュ時のバスに乗り込むなどして実情をつぶさに視察し、また、同日五人の通勤者代表から要望や意見を聞きました。新潟市交通対策協議会でも、この非常時態にある交通ラッシュを緩和しようと、熱心にその対策を検討しました。

交通マヒを打開するための新潟市交通対策協議会は、二十一日イタリア軒で開かれ、国、県、市の道路管理者、土木業者、運輸業者、それに取り締まり側の警察関係者など多数参加しました。

席上、関係各方面から現状の報告と、それぞれの立ち場から要望や対策が出されましたが、具体策は今後早急に協議を重ねて打ち出すことにし、市民にできるだけ不自由をかけないよう努力することを申し合わせました。

いま、市内で道路や橋の工事を行なっているところは、大小合わせて約二百カ所です。これは道路や橋そのものの補修のほかに、水道管や下水道管、電話ケーブル、ガス管の修理のため掘りかえしを行なっているのです。これらの工事は、雪の降らないうちに、早く復興しようと急いでいます。それで、今までも関係機関とよく打ち合せて、工事を進めてきましたが、よりいっそう連絡調整を密にするよう話あいました。また、信濃川に架っている橋が少なくて、東西の交通量をまかないきれなくなるので橋を増やしたらという要望もありました。

また、当面の問題として、朝夕のラッシュ時には、緊急止むをいない車はのぞき、なるべく、西地区は西地区内で、東地区は東地区内で仕事をするようにして、車で橋を渡らないように協力を呼びかけたらどうかなどの意見もありました。

市では、十二月市議会で道路の修理費を大幅に計上して、市道のデコボコ、陥没個所を徹底的に補修することにしていますが、警察でも十二月から交通情報センターを設置して、情報を流すことによって交通の緩和をはかることにしました。

このほか、国道七、八号のバイパス建設、信越線の白山駅乗り入れ、柾谷小路の右折禁止、東港線踏み切りの信号機設置などがありましたが、これらの検討を関係機関に要望し、今後も協議会を開いて交通マヒの打開に協力するよう申し合わせて協議会を終りました。

万代橋西詰めで車の混雑ぶりを視察する渡辺市長。11月18日朝
「来年の夏までには、なんとか万代橋と八千代橋の修理を終らせたいものだ」と語りました。

関分事業直轄実施など陳情

塚田知事、渡辺市長ら県・市当局、および両議会代表約六十人は、十一月二十日東京赤坂のホテル・ニュージャパンで、県選出国会議員団と懇談会をもち次のことについて協力かた要請しました。①八〇％以上の国庫助成を目的とする震災復興対策事業にたいする財政上の特別措置⑶信濃川水系の一級河川指定③関屋分水事業（直轄）実施など。

引き続き建設省に小山建設相をたずね、関屋分水事業の直轄実施などを陳情しました。

新年名刺交換会案内

新年を迎えるにあたり、復興途上にある本市の発展を祈り、あわせて儀礼の簡素化をはかるため、新潟市主催の新年名刺交換会を次のとおり催します。みなさま多数ご参加くださるようご案内いたします。

日時 昭和四十年一月一日午前十一時
会場 大和デパート、六階
会費 四〇〇円
申し込み 十二月二十一日（月）までに市役所市長公室秘書課あてお申し込みください。

※整理のつごうにより、先着五〇〇名で締め切らせていただきます。

市政功労者として
村山氏ら81人を表彰
勤労感謝の日 イタリア軒で

十一月二十三日午前十一時からイタリア軒で、市政に功労のあった八十一人の表彰式が行なわれました。

被表彰者たちは、夫人同伴で式典にのぞみ、渡辺市長からそれぞれ表彰状や記念品をうけ、記念撮影ののち、中食をともにしました。

被表彰者の内訳は、有功表彰六十人、篤行表彰二人、永年勤続表彰四十九人で氏名は次のとおりです。

＝被表彰者＝

▼有功表彰

村山勇一郎 倉田勇吉
川島栄一 牧野鼎吉
桑原惣一 奥田一三
松尾松三郎 阿部有一
小山徳一郎 田中源次
乙川長作 本間運平
高野兵衛 斎藤正直
斎藤秀平 真野ユキ
金子康隆 阿部功
外川丈夫 島田修二
鹿野愈 山田隆治
山崎良作 小島数宣
守木重蔵 阿部耕平
北島憲恵 伊藤宏宗
林マツ栄 赤羽達雄

▼篤行表彰

奥山畯 塚野正

▼永年勤続表彰

松原健一 豊岡謙吾
阿部伝三郎 水野貞一郎
丸山竹作 早川東一
樋口賢吉 関伝三郎
関川重一郎 桜井一郎
桑原六蔵 千代七三郎
米田久次郎 横村理
早川拒生 岩谷留五郎
金子善星 桑野茂
青木正二 星名秀二
児玉賢雄 高橋ミウ
笠原ヨシ 高橋乙八
横村喜三郎 菅原勝美
中島正二 熊谷平吉
矢部欽弥 本間勇一
野上幸吉 谷治昌
小林孝策 佐藤昇一
堀川作蔵 田中富治
三沢喜義 野島義雄
間島寅三郎 星野俊郎
水野一 坂上松之助
須藤丑太郎 大沢市太郎
小川岩英 板井政二
横山吉太郎 辰喜恭三郎
小林忠

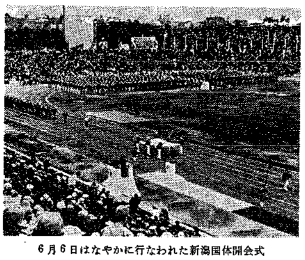
市政12カ月の歩み

ことしもあと一カ月たらずで終ろうとしています。すぎ去ろうとしている昭和三十九年をふり返ってみますと、新潟市民にとって、一年前半は国体を迎えるに忙しく、後半は地震による復興のための苦労を重ねてきたと思われます。

■新潟地震

六月十六日午後一時二分、それは新潟市民にとって、永久に忘れられぬ日であり、時間であります。

さいわい、死傷者の数は少なかったが、全市民の四〇％が大きな被害をうけました。この今だかってない大災害に「災害救助法」が適用され、また、「激甚災害法」の指定をうけました。そのため市では災害特例措置として、行政のあらゆる面に力をそそぎました。また全国はいうにおよばず、外国からもあたたかい救援の手がさしのべられたことは、感謝のほかありません。現在、みなさんの復興への意欲によって、市民生活も地震前にもどってきました。しかし、本格的な復興はこれから行なわれます。災害に負けず、ねばり強くがんばっていただきたいものです。



6月6日はなやかに行なわれた新潟国体開会式

■新潟国体

六月六〜十一日

〝国体を成功させよう〟をあいことばに、みなさんが力を合わせたかいあって、新潟国体は各方面から絶賛を博して終りました。このオリンピックに先がけて開かれた新潟国体には天皇・皇后両杯獲得という最高の栄誉をうけましたが、それと同じように遠来のお客さんたちに好い印象を与えたことは〝市民みんなのおてがら〟でした。すなわち、きれいな町、民泊などの宿舎関係の接待はよく、心配していた赤痢・食中毒はゼロ、交通規制も整然と行なわれました。

■二つの姉妹都市

ガルベストン市

アメリカ・テキサス州のカルベストン市長エドワード・シュレーバー氏から、手紙とともに同市と新潟市との間に姉妹都市としての縁組を結ぶことについての議決書などが届いたのは四月二日でした。

新潟市では、さっそく五月市議会で、国際的な信頼と友誼の上にたってカルベストン市と都市提携をする旨の決議を行ないました。

このたびの地震にあたっても、再度義損金をいただきました。

ハバロフスク市

渡辺市長は、九月七日から二週間ソ連・ハバロフスク市長ピッチンツェフ氏らの招きによりシベリアを視察してきました。渡辺市長は現地で救援資材（木材）をいただいたお礼をのべ、対岸貿易について懇談しましたが、ハバロフスク市と姉妹都市縁組を結ぶことについても話合いました。日本海側の中核都市新潟と、対岸ハバロフスク市との間に、よりいっそう、産業、文化、経済などの交流が盛んになるのは、間近いものと思われます。

心地よいめざめ
ハイセンスな寝具がいっぱい!!
おしゃれのきものと新しい寝室用品
大市呉服店
新潟チケット 本町5

冠婚・葬祭
新しく安い
貸衣裳
（会員外の方もご利用下さい）
新生活互助会
東仲通一 TEL ③0305

…も いちばん いいものは…
和洋酒・食料品
明治屋
電話 ② 3566

1年貯蓄のチャンピオン
ワリノー
農林中央金庫 新潟支所
新潟市西大畑町（西消防署前）TEL ② 4151

プランを育てるダイ四の窓口
第四銀行
ダイ四でたのしいボーナスプラン
みんなの夢をもっと大きく